

スポーツに見る日本文化

実施日：平成29年7月6日～7月17日 於：ガーナ, ケニア, ボツワナ

■ 派遣専門家



為末 大

一般社団法人アスリートソサエティ
代表理事

スプリントトラック種目の世界大会で日本人として初のメダル獲得者。男子400メートルハードルの日本記録保持者（2017年8月現在）。3度オリンピックに出場し、その後プロに転向。現役引退後、スポーツ関連事業を請け負う会社を経営し、著書も多数。ブータン五輪委員会スポーツ親善大使に就任するなど、五輪メダル獲得経験のない国への支援を行っています。

■ 事業概要

● ガーナ



ガーナスポーツ・青年大臣表敬



アクラ・アカデミー（高等学校）でのワークショップ

● ケニア



リルタ・セントラル中等学校での講演・ワークショップ



ストラスモア大学での講演・ワークショップ

● ボツワナ



スポーツ委員会, オリンピック委員会, 陸上協会関係者表敬



ステッピング・ストーンズ・インターナショナル孤児院での講演, ワークショップ

■ 実施結果

元プロ陸上選手の為末大さんが、ガーナ、ケニア、ボツワナを訪問し、スポーツ競技における精神面の重要性・日本的なスポーツ競技に対する姿勢等についての講演会とワークショップを行いました。ガーナでは、高等学校、スポーツ選手・指導者への講演・ワークショップの他、スポーツ・青年大臣、スポーツ協会会長、オリンピック協会会長を表敬訪問。ケニアでは、大学生、中等学校生に向けての講演・ワークショップに加え、オリンピック委員会会長を表敬訪問。ボツワナでは、一般向けの他、孤児院での講演・ワークショップを実施し、青少年地位向上スポーツ文化開発省副大臣、スポーツ委員会、オリンピック委員会、陸上協会関係者への表敬を行いました。各地で、政府関係者・スポーツ関係者等を招いたレセプションや現地メディア取材対応も行い、現地主要紙での記事掲載やTV報道がされました。